

三陸沿岸道路(尾肝要道路・普代道路)の 開通後の交通状況や効果についてお知らせします

～水産輸送や観光ツアーで、時間短縮・安定輸送などによる効果現れる～

東日本大震災からの復興に向けたリーディングプロジェクトとして三陸沿岸道路等の整備を進めています。
このたび、尾肝要道路(開通3ヶ月後)と普代道路(開通8ヶ月後)の交通状況及び効果について取りまとめましたのでお知らせします。

【位置図】



【尾肝要道路】(平成26年3月2日開通)

	総交通量(7時～19時)	
	供用前(H26.2.19)	開通後(H26.6.3)
尾肝要道路	—	2,200台/12h
国道45号(現道)	2,100台/12h	200台/12h

【普代道路】(平成25年10月13日開通)

	総交通量(7時～19時)	
	供用前(H25.10.2)	開通後(H26.6.3)
普代道路	—	2,300台/12h
国道45号(現道)	3,700台/12h	1,300台/12h

- ◎時間短縮と安定輸送で、水産輸送での鮮度の保持や効率化に貢献
- ◎時間短縮により観光ルートが拡大、地域観光を支援 (別紙)

発表記者会: 久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北専門記者会

〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所
電話番号 0193-62-1711(代表)

副 所 長 としま まもる
戸 嶋 守 (内線204)

調査第一課長 なりた しんたろう
成 田 信 太 郎 (内線451)